



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

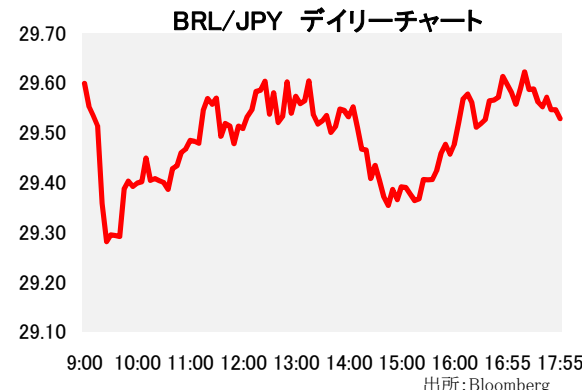
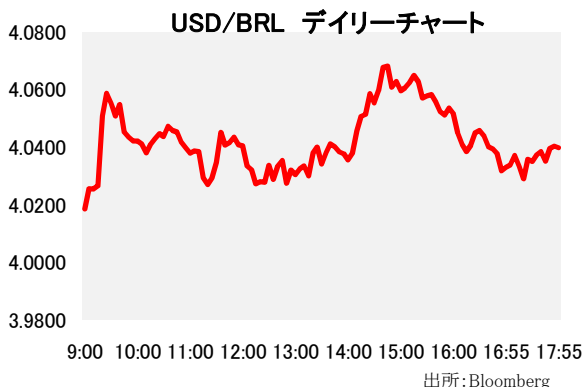
1. マーケット・レート

			12月24日	12月28日	12月29日	12月30日	1月4日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9390	3.8590	3.8640	3.9570	4.0390	+0.0820
	BRL/JPY	Spot	30.56	31.18	31.13	30.46	29.53	-0.93
	EUR/USD	Spot	1.0944	1.0975	1.0940	1.0923	1.0827	-0.0096
	USD/JPY	Spot	120.37	120.34	120.34	120.55	119.31	-1.24
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.640	15.115	15.134	15.204	15.210	+0.005
	Future	1Year(p.a.)	15.090	15.758	15.819	15.880	15.774	-0.105
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.134	3.022	3.247	3.331	3.406	+0.075
	USD	1Year(p.a.)	4.172	4.077	4.206	4.220	4.277	+0.057
株式	Bovespa指数		44,015	43,764	43,654	43,350	42,141	-1,209
CDS	CDS Brazil 5y		489.93	494.65	491.48	492.05	501.95	+9.90
商品	CRB指数		175.858	174.463	177.344	174.895	174.486	-0.41

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイクエーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.88%	0.88%	0.93%
マーケット・ブラジルPMI製造業	--	45.6	43.8
貿易収支(月次)	\$5950m	\$6240m	\$1197m
総輸出	\$17320m	\$16783m	\$13806m
総輸入	\$11200m	\$10543m	\$12609m
(米)マーケット米国製造業PMI	51.1	51.2	51.3
(米)建設支出(前月比)	0.6%	-0.4%	0.3%
(米)ISM製造業景況指数	49.0	48.2	48.6



3. 要人コメント

ウィリアムズ・サンフランシスコ 連銀総裁	中国の株式市場は米国に直接的な影響を与えていない。米国の経済は非常に好調であり、2016年は3~5回の緩やかなペースの利上げが妥当。ドルはインフレを抑制している。
----------------------	---

4. トピックス

- 本日のレアルは高値となる3.9630で寄り付いた。中東情勢の悪化やアジア株式市場の急落を受けて、リスク資産売りの流れからレアルは寄り付きから4.06台前半まで急落した。伯中銀仲値公表に向けてはレアルが買い戻され4.02近辺まで反発したが、欧州市場や米州市場で株式市場が総崩れとなる中、レアルは上値の重い展開となった。その後、朝方上昇していた原油価格が反落すると、レアルは急落して昨年9月以来の安値となる4.0690をつけた。引けにかけて買い戻しが入り結局4.0390でクローズ。ボベスパ指数は4日続落。昨年8月の安値を下抜け2009年4月以来の安値を更新した。
- 伯中銀のアナリスト予想集計では2016年末の経済成長率予想が-2.81%から-2.95%へ13週連続で引き下げられた。2016年末のインフレ率予想は6.86%から6.87%へ小幅上方修正されるも、2016年末の政策金利予想は15.25%のまま不変だった。
- 大使館襲撃を受けて週末にはUAEがイランとの外交関係断絶を宣言していたが、本日はバーレーンとスーダンも断交を発表した。これを受けて原油先物相場は急上昇し、WTI先物直近限月ものは一時約1ヶ月ぶりの水準となる38ドル台前半まで買われた。しかし、リスクオフムードで商品市況が軟調推移する中、原油価格も軟調に転じ、36ドル台前半まで反落した。
- 中国株は12月の中国製造業PMIで製造業活動が5か月連続で縮小したことが嫌気され大幅下落した。本日から導入されたサーキットブレーカー制度に抵触し、CSI300は前日比7%の下落で取引が停止された。大発会の日本株も米中景気や円高懸念から前日比3%の大幅反落となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。